

大会挨拶

早稲田大学部長

岩片秀雄

恒例の早慶定期戦も本年度回を重ねること17回になり、この度日吉記念館で両校のOBと学生諸君がお互いに日頃鍛えた技を披露し競い合うことになったが、誠に喜びに耐えない。

先般のユーバ杯争奪戦をみて私の感じたことは日頃の訓練によって培われたあの自信と最後まで戦い抜こうとする粘りが勝因をもたらしたものだと思う。一万人を越える観衆の見守る中で試合を進める若い女子選手の演ずる意気づまるような熱戦の練合しに対し、我を忘れて送る拍手のどよめきと異常の興奮はスポーツ以外に味うことはできないであろう。このようなプレーになると平素の訓練と精神力とが物をいうのであるが、それにも増して選手の心の支えとなるのはチーム全体の和ということではなからうか。

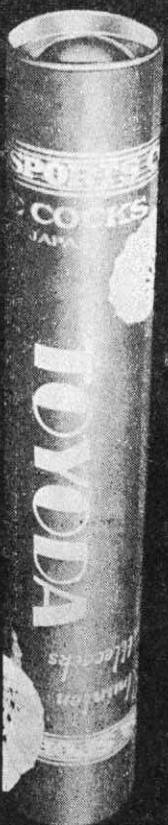
今回の早慶定期戦はいつれの大学に栄冠がまたされるかは別として、学生スポーツとして日頃鍛えた腕前をこの機会に充分発揮して火の出るような熱戦を展開して戴くよう切望してやまないのである。

TOYODA BRAND

みんな知ってる使ってる

トヨタの3色カラー

トーナメントブルー
トーナメントグリーン
トーナメントレッド



日本バドミントン協会検定合格 本年度公式大会使用球



優良バドミントン用品総合メーカー
株式会社 トヨタスポーツ

東京都台東区浅草橋5-10-2 TEL (851) 9409 (866) 2515

大会挨拶

慶応義塾部長
平良

早慶対抗定期戦もすでに17年を重ねているが、その開催の当初慶応義塾が連勝しているのに対して、この数年間早稲田の連勝が続いている。このことは両校にとってはなほ不幸なことであり、本来ならば兄たり難く弟たり難く勝負を競っている形をとらなければならぬ。こうなった責任の一半は慶応義塾の側において負はなければならぬことであり、いろいろと弁解の口実はあるにしても著しく興趣を殺してしまったことを申し訳けないと思っている。

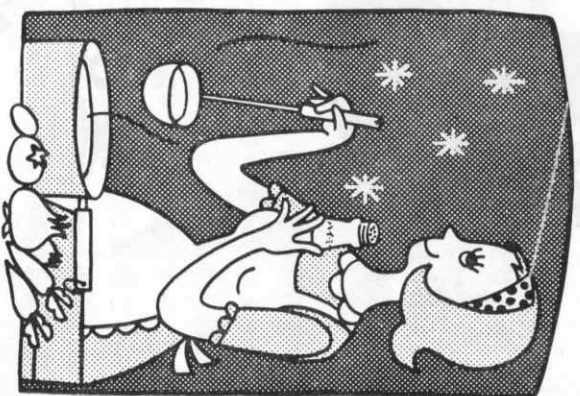
はなはだ不安定な昨今の大学生活の中において練習にも障碍が少くないものではあるが、多少の異常な雰囲気のみこまれずに最大の努力を重ねて来たことを信じている。とはいえ、なお実力において両校の間にまだ少からざる差異があることは認めざるをえない。ただ、凡ゆるスポーツにとつて共通であり、特に学生スポーツにとつて重要である力によつて対抗試合に臨めるように期待している。

かつて早慶両校から数多くの国際的選手を生み出して来たものであり、私学の雄としての両校が学問的業績のみならず、スポーツにおいても日本とさらに世界をリードして行く日のあることを信じて、一層の努力を期待し、また現在の持てる力と気力のペストを尽して本年の早慶戦が終始するよう祈念している。

ほんとうに
おいしい
〈だし〉

味の素^{KK}の 複合調味料

ハイミー[®]



●みそ汁・おすまし・天つゆ・煮物などのだしにおためしください

味の素株式会社

監督挨拶

早大助監督 福井 正 康

1969年9月、17回目の早慶バドミントン定期戦を日吉丘上に迎えることとなった。慶応大学とは今年春季リーグですでの対戦しており、吉田監督以下一丸となったその粘りのあるプレーにかんがりの苦戦をしいられた。特に主将佐藤君のリーグ戦を通じての健闘は目をみはるものがあった。過日の東日本選手権でも慶応の選手諸君が優秀な戦績をのこされたときいている。

ひるがえって吾が部をみるならばその春季リーグ戦で強敵立教大学に勝ち、創部以来初の3位ということでも多少将来に希望を持ったのであるが、その後の国際学生予選、関東選手権等では収獲は皆無であった。

団体戦では力を集中できるが個人戦ではその持てる力を極限まで費やすことがまだまだ出来ないであり、他校に比して潜在エネルギーの不足が考えられる。

しかし今夏は遠く高松にて合宿を行い、現役一同意欲十分である。この第17回早慶戦に臨んでは再び闘志をもやし、エネルギーを顕現させ連勝への道を歩みたい。

最後に今回の定期戦の当番校である慶応大学関係者の皆様の御労苦に深く感謝します。

監督挨拶

慶応義塾監督 吉田 格 磨

早慶定期戦も17回目を迎え今年こそはと打倒早稲田を目標にがんばっております。私が監督になって6年目になる現在早慶定期に五連敗という成績であります。

昨年秋セブンズぶりに一部へ返り咲き、喜んだのもつかのま春季リーグ戦に完敗再び二部転落となり、待望の早慶戦年三回も実現出来ず大変残念に思っております。しかし我々は過去において恵まれすぎた環境で勝利の美酒に酔って居ましたが、その間早稲田大学は何回かの入替戦を勝ち抜く苦労の連続であったと思います。

しかし監督以下部員の人達がよくそれにたえぬき、その永い間の苦労がみのり春季リーグ戦に三位という好成绩を修められました。私自身もう一度第一歩からスタートするつもりでこの定期戦に望む気持ちです。今回の定期戦も劣勢は免がれませんが、勝負は終ってみなければわかりません。何としてもねばりをもって連敗の汚名を挽回すべく夏期合宿に於て練習に励んで居り早稲田大学からみれば慶応大学がいくら押しでも感じないかもしれませんが何回でも何回でもくりかえし、踏れても踏れても伸びる雑草のようなつもりで体力気力の充実をはかりその結果必ず勝利のチャンスがでてくると確信し年三回早慶戦をやるべく必至の努力をしています。

両校とも日頃練磨による実力を発揮し好試合が展開されると共に、我々は早慶戦を足がかりにして必ずや再度一部へ返り咲きたいと切に念願する次第です。

早稲田学院メンバー

| | | | | |
|---|----|-------|----|------------|
| 1 | 主将 | 田島尚樹 | 3年 | 神明中学校出身 |
| 2 | 主務 | 田中研二 | 3年 | 蘆花中学校出身 |
| 3 | 副将 | 勝倉昇 | 3年 | 上野中学校出身 |
| 4 | 選手 | 山田孝正 | 3年 | 飛鳥中学校出身 |
| 5 | ” | 大久保義則 | 2年 | 学芸大付属中学校出身 |
| 6 | ” | 上法明男 | 2年 | 文京第6中学校 |

主将抱負

田島尚樹

我がバドミントン部は、創立以来7年の年月を重ねやっと充実して来ました。しかし、早慶戦の戦績においては、まだ1勝をもあげていないというのが事実です。昨年は残念ながら2—3で敗れましたが、今年こそはと全員『打倒慶応』の意気に燃えています。

そこで今年の第17回早慶定期戦を迎えるにあたって、第11回の高校戦開始よりの6連敗の記録に終止符を打ち、今年から連勝記録を打ちたてようと部員全員一生懸命に頑張る、この伝統ある一戦に向かって躍進しています。

年に一度のこの定期戦を何が何でも勝ち取り、我が部の意気をさらに上げ、高一層の充実を計りたいと思います。

若さを主張する人に

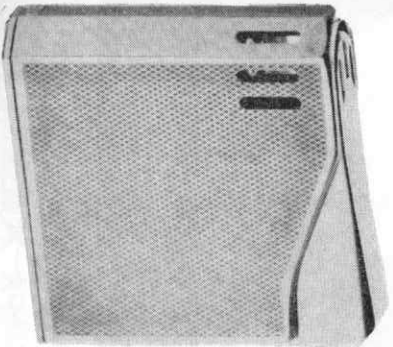
あらゆる記録を破った 電子ライター

Halley

ハレー

ロータリー方式採用 あらゆる記録を破った 世界一小さく・軽い
画期的なポケット電子ライター

2,800~8,000円



慶応義塾高等学校メンバー

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|-----------|
| 1 | 主将 | 数原 | 徹郎 | 3年 | 慶応義塾普通部出身 |
| 2 | 主副 | 岩山 | 孝昌 | 3年 | 石川台中学校出身 |
| 3 | 記録 | 本村 | 秀勝 | 3年 | 慶応義塾普通部出身 |
| 4 | 録手 | 竹村 | 克治 | 2年 | 練成中学校出身 |
| 5 | 選 | 大野 | 正真 | 2年 | 慶応義塾普通部出身 |
| 6 | 手 | 中福 | 明一 | 2年 | 一橋中学校出身 |
| 7 | ” | 河富 | 均仁 | 2年 | 田園調布中学校出身 |
| 8 | ” | 合崎 | 泰 | 2年 | 九段中学校出身 |
| 9 | ” | 伊藤 | 孝 | 1年 | 慶応義塾中等部出身 |
| 10 | ” | 朝妻 | 孝 | 1年 | ” |
| 11 | ” | 藤 | 孝 | 1年 | 田園調布中学校出身 |
| 12 | ” | 伊藤 | 泰 | 1年 | ” |

主将抱負数

原徹郎

今年度の目標である第17回早慶バドミントン定期戦がやってきた。我々高校戦は大学戦等と比べ回数も第7回目と少なく、又技術もかなりおとると思う。しかし、それらの点を、機敏さとフライングで補っていいこうと思っている。僕達慶応高校は目下6連勝をしているが主将として連勝の記録を伸ばすと共に、高校生らしいきびきびとした試合をコート内で御覧に入れようと思う。

県内の主な大会も終り、これからは打倒早稲田学院を目指して練習を重ね、この定期戦でその成果を充分に発揮しようと思っている我々である。

優勝旗・美術記念品
優勝カップ・バッチ・バッグル

製造販売

品 格 ある 老 舗

株式会社 はたの工芸社

東京都中野区中央4丁目26-20

TEL (381) 6961

早稲田大学メンバー

| | | | |
|----|-----|-------|------------|
| 1 | 部長 | 片村 秀雄 | 早稲田大学教授 |
| 2 | 監督 | 田井 信正 | " |
| 3 | 監督 | 藤野 正一 | 昭和28年商学部卒 |
| 4 | 監督 | 野藤 康繁 | 昭和32年 " |
| 5 | 監督 | 阿部 孝浩 | (社会科学部4年) |
| 6 | 監督 | 大武 進之 | (") |
| 7 | 監督 | 杉野 孝浩 | (") |
| 8 | 監督 | 佐野 俊和 | (商学部4年) |
| 9 | 監督 | 野矢 重朗 | (政経学部4年) |
| 10 | 監督 | 今及 治夫 | (文学部3年) |
| 11 | 監督 | 大矢 一林 | (教育学部3年) |
| 12 | 監督 | 新井 茂憲 | (") |
| 13 | 監督 | 桐島 賢 | (") |
| 14 | 監督 | 加藤 友真 | (法学部2年) |
| 15 | 監督 | 塚村 博 | (商学部2年) |
| 16 | 監督 | 見人 | (理工学部2年) |
| 17 | 監督 | 賢人 | (") |
| 18 | 監督 | 隆賢 | (文学部2年) |
| 19 | 監督 | 見人 | (") |
| | 副部長 | 岩河 津 | 木更津 高出身 |
| | 監督 | 片村 秀雄 | 向丘 高出身 |
| | 監督 | 藤野 正一 | 新法 高出身 |
| | 監督 | 野藤 康繁 | 早稲田 高出身 |
| | 監督 | 阿部 孝浩 | 関東学院六浦 高出身 |
| | 監督 | 大武 進之 | 武生 高出身 |
| | 監督 | 杉野 孝浩 | 仙台 高出身 |
| | 監督 | 佐野 俊和 | 早稲田 高出身 |
| | 監督 | 野矢 重朗 | 浦和 高出身 |
| | 監督 | 今及 治夫 | 仙台 高出身 |
| | 監督 | 大矢 一林 | 七尾 高出身 |
| | 監督 | 新井 茂憲 | 南川 高出身 |
| | 監督 | 桐島 賢 | 越田 高出身 |
| | 監督 | 加藤 友真 | 池田 高出身 |
| | 監督 | 塚村 博 | 早稲田学院 高出身 |
| | 監督 | 見人 | " |
| | 監督 | 賢人 | 雄山 高出身 |

フットワークの重要な役割！

ゴゴアツクポナナ
(パドミントシューズ)



¥ 1,000

理想的な底構造

コーヨーベンブー独自の底構造により、ゲーム中敏捷なフットワークを素早く実現できる。ポイントにぴりぴり、余裕をもったストロークができる。

姉妹品 **ブーナパドミントシューズ** ¥ 800

光洋産業株式会社

| | | | | | | | |
|----|---|---|----|----|----|-----------|-----|
| 20 | 選 | 手 | 吉高 | 永田 | 孝広 | (教育学部2年) | 小若 |
| 21 | " | " | 高二 | 田上 | 常敏 | (政経学部2年) | 八雲 |
| 22 | " | " | 神松 | 戸下 | 博照 | (教育学部1年) | 高尾 |
| 23 | " | " | " | 高 | 輝 | (社会科学部1年) | 藤島 |
| 24 | " | " | " | 高 | 輝 | (政経学部1年) | 早稲田 |

大学女子メソバ

| | | | | | | | |
|---|---|---|----|----|-----|----------|----|
| 1 | 選 | 手 | 安野 | 田村 | 京哲 | (教育学部3年) | 里高 |
| 2 | " | " | 鈴木 | 沢木 | 礼子 | (文学部3年) | 賢明 |
| 3 | " | " | 金小 | 田野 | 恵美子 | (教育学部2年) | 山形 |
| 4 | " | " | " | 春 | 日子 | () | 富士 |
| 5 | " | " | 小星 | 野敬 | 日子 | (1年) | 高 |
| 6 | " | " | " | " | " | (1年) | 出身 |

主 将 抱 負

早稲田大学 主将 近 藤 繁

第17回早慶バドミントン定期戦をここの日吉で迎えるに当りその築かれてきた歴史の流れを知り意識を新たにしていられるのであります。そして、その歴史の一端を今、我々が諸先輩と一緒に歩を進めることができます。そして、深い感慨を覚えます。絶対に負けたくない、何はともあれスポーツは、勝ちと負けしかない単純な世界です。勝つためには当然それなりの準備が必要です。幸福にも我々早稲田人は、慶応マソソという素晴らしいライバルを持っています。慶応マソソとの競いあいの中にスポーツで最も重要なものが存在するように思えます。まずは早慶戦で勝利を納め、秋のシーズンの先がけとするよう必死で頑張ります。慶応の皆様よろしくお願い致します。

Japan—Lacquer—Ware

Wooden—Product

外国へのおみやげに
御婚礼の御引物に

漆器・工芸品
オルゴール

会 津 屋 本 店

文京区本駒込3丁目34番10号
電話 (821) 3440・0580

| | | | | |
|----------|----|-------|---------|---------|
| 16 | 選手 | 酒井素樹 | () | 北陵高出身 |
| 17 | " | 金子寛 | () | 甲府一高出身 |
| 18 | " | 西川雅祥 | () | 松江北高出身 |
| 大学女子メンバー | | | | |
| 1 | 選手 | 五味幸子 | (文学部4年) | 慶応女子高出身 |
| 2 | " | 富岡鮎子 | () | 東京女子館出身 |
| 3 | " | 三原桂子 | (法学部4年) | 桜蔭高出身 |
| 4 | " | 三川美耶子 | (文学部3年) | 慶応女子高出身 |
| 5 | " | 小池敏子 | () | 富山中部高出身 |
| 6 | " | 今井立子 | (法学部2年) | 東京女子館出身 |
| 7 | " | 堀切佐紀子 | (文学部1年) | 慶応女子高出身 |
| 8 | " | 田村滋子 | () | " |
| 9 | " | 小城克子 | () | 広島女学院出身 |

主 将 抱 負

慶応義塾体育会 主将 佐藤 信 夫
バドミントン部

第17回をむかえた早慶バドミントン定期戦は、回を重ねるにいたが、バドミントン界において、その位置を確固たるものにしてきました。これは早慶高校の諸先輩の努力の結果です。この定期戦に我々参加出来る事を誇りとし、またより一層この定期戦を發展させてゆくため万全の態勢で臨み全力を注ぎたいと思います。

最近の対戦成績は5連敗を喫していますが、現在、早慶の力の差を認めざるうえません。しかし、我々はこの力の差をつめるべく「早稲田を倒せ」を目標に合宿、練習に励んでまいりました。

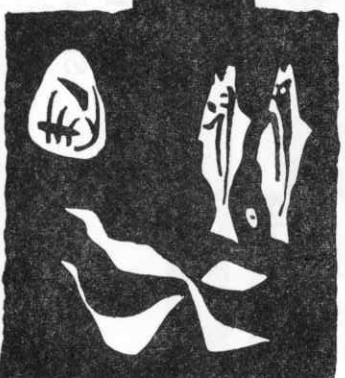
この成果を遺憾なく發揮し、全力をあげ好試合を展開し、定期戦の主旨と伝統に恥じないよう頑張ります。

早稲田の皆様よろしく願います。

全 唯一の東京名産

玉末巻のつくだ煮

港区新橋 1丁目 電話 (571) 7225・7226・2474
東京駅名店街 国電浅草橋駅隣 渋谷東横のねん街 新宿駅ベル地下2階
錦糸町駅ベル地階 川崎駅ベル地階 羽田空港国内線待合室



早慶戦によせて

全日本学生バドミントン連盟

委員長 本島 義 男

第17回早慶定期戦開幕に当りまして一言ご挨拶申し上げます。

学生スポーツの交流は各大学とも盛んに行なわれていますが、この伝統ある早慶戦の姿に出る定期戦はまずない様に思われます。

その意味においても早大、慶大両校ともこの意義を充分自覚して、我ら二校が学生バドミントン界をリードしていくんだという気構えで常にプレーに励んでもらいたいと存じます。聞く所によりますと、過去の成績は11勝5敗との事でそれも慶大の5連敗であるというので、今年こそは慶大の奮起を是非期待したい所です。

終りにこの定期戦のために尽力された早慶両校の諸先輩の皆様をはじめ、現役の方々に心から敬意を表するとともに、この定期戦が末永く続きますことを念じて止みません。

法政大学体育会バドミントン部

主 将 梅野尾昌一

第17回早慶バドミントン定期戦が開催されますことを御祝いします。伝統あるこの定期戦は私共学生にとつて非常に有意義であると思います。御存知のように国際学生バドミントン選手権では日本の圧倒的な活躍それによりパー杯では初防衛をし、日本のバドミントン界は世界に大きくはばばたいております。その中で早慶バドミントン定期戦が学生バドミントン界に果してきた巧績は大きいと思います。

バドミントン界最高の歴史をもつ慶応大学、一部の上位校早稲田、この両校の対戦は、充実した白熱した試合になることでしょう。

学生の我が国バドミントン界に果す役割は極めて大なるものがあると思います。本大会が学生バドミントン界の力強い息吹きとなることを期待し、大会の成功されんことを望みます。



三澤洞

新書画・美術品

東京・日本橋室町交叉点際・TEL(241)0935・1003

早慶定期戦に際して

三田バドミントン部長

吹野家寿吉

昨春秋一部に昇格した塾も一シーズンで又もや二部に転落し、早慶戦をむかへることに
なった事は誠に残念な事ですが事実として率直に認めざるを得ません。その間塾としても
出来る丈の努力をし、又部員も一部に留ることが最大の目標としてやって参った訳であり
ます。然し乍ら実力の差は如何ともし難かった訳ですが、一番大切な事は矢張り目的に向
ってたゆまぬ努力をすることであり努力によって一つ一つの困難を克服に行く事でありま
す。そこに人間としての価値が生れるのだと思います。

体育会の精神で最も強く言はれる言葉に体育会は単なるスポーツ団体ではなく正しく心
身鍛練の場であり、人間形成の場であると云う事であります。体育会部員はそれぞれの競
技において、さらに輝かしい栄光のために勝利にむかってあくなき努力を尽すと共にそれ
によって心身を鍛練しすべれた人格を形成することによって、塾生の範たる存在になら
なければならぬと常に言はれて居り部員諸君も十分に承知している事と思ひます。

我々は如何なる場合においても現実を冷静にみつめ判断し、そこに最善の方法を見出し
て目的に努力すると共につねに知性と品性を涵養し、知識を練磨していかなる事態に直面
しても堂々と勇氣と理性をもって行動して行かなければならぬと思ひます。

此の大会においても早稲田大学との定期的な対抗戦であると云う事ではなしに此の対抗
戦を通じて何等か自分自身に得るものがある大会でなければならぬと思ひます。技術、
フライト、マナー、根性、総てにおいて早稲田大学に及ばない点をどれか一つでも塾はよ
かったと云はれる様な意義ある試合をして貰い度いと云う事が先輩としての切なる希望で
あります。

喫茶・軽食

銀座でパリのムード

エリゼ

銀座3丁目

西銀座デパート向い、平和生命ビル一階

早慶戦によせて

早稲田大学商学部 31年卒
田 口 幸 雄

楽しみにしている早慶戦が、再びやって来た。早慶戦の中では、比較的、歴史の新しい大会ではあるが、回を重ね、早や17回目を迎えんとしている。

第1回は、確か、昭和28年5月に、神田の国民体育館で、対戦したと記憶する。当時、慶応勢の壁は厚く、ぶつかっては、はねかえされて、涙をのんだまま、卒業した苦しい出が残っている。

社会に出てからは、業務の多忙にまぎれ乍らも、この大会前になると、そわそわして来るから不思議なものだ。これはOB誰もが感じている事と思う。

私自身は、ここ数年、仕事の関係でインドネシア勤務となった為、この大会に参加出来ず、毎年、結果をきくのが待遠しかった。

インドネシアと言えば、御承知の通り、バドミントンの盛んなお国柄だが、1昨年行われた、トーマス杯の、インドネシア対ラレーシアの騒動では、取引先の幹部級のお偉方までが、口角泡をとばして、応援していたが、日本には伝統の早慶戦というものが有り、我々も年に一度、参加すると説明したら、羨ましがっていた。

頭の薄くなった先輩、同僚、いつの間やら中年肥りした先輩が、現役に負けじと張切る傍らで、『お父さん、あんなに無理して大丈夫かしら』と心配する家族の眼差し等々、早慶戦ならではのほほえましい風景である。

将来は現役、OB戦に親子二代、いやお孫さんまで加わった、三代出場の記録が作られる様、より一層の発展を祈る。

早稲田大学教育学部 43年卒

関 誠

「早慶定期戦」それは、定期戦にすぎないと言われるかもしれないが、日本国内のどんな大会よりも、規模が大きく、試合内容は言うに及ばず、あのはなやいだ会場の雰囲気、社交性に富んだ両校の友好関係、どれを取ってもそれこそ日本一の烙印を押されること間違いないの大会であります。

そのような早慶定期戦であるからして、それは試合当日1日にして成るものではありません。その日は単に、その日のために、そこでテニスを切るために、長い間苦しみ、人にはなくまず自分に勝つために準備された道程の行き止まりであり、行ってきたことの結果だけが現われるに過ぎないのであります。

そこでテニスを切るために、そこで試合に勝つために組まれた、カリキュラムのなかのいろいろな苦しみの過程を消化したという充実感にこそ早慶定期戦の意義も感じられるのではないのでしょうか。少くとも私の感じてきた早慶定期戦とはそのようなものでした。1年生の時、早稲田がこの定期戦初の1勝をあげたことよりも、それに向って合宿に、練習に励み、時には涙を流し、皆で励ましあった時、4年生の時、4連勝を飾るということよりも自分に与えられた1生に1度の自分の担うことのできる責任の重圧感を耐え抜いたという満足感を感じた時、そんなものに定期戦の印象として残っております。

OBというものは、常に対戦成績というものを頭に置くが、現役は、自分達が今の時代を築いているということ、今行っていることが全て早慶定期戦につながること、こらいう自覚のもとに大会に望んでもらいたいと思います。早慶両校共に立派な試合が行えることを願っています。

きつと歴史は繰返えすぞ

慶応大学 経済学部 31年卒 竹尾敏広

よく、テレビでザバ樺合戦に接するのを見ると、あのエネルギーをバドミントン競技に向けてくればたらなす。秩序はルールによって保たれるのですが、時として現象として生れ、それは事実となり、ルールの革新の摩擦がそれです。しかし、革新はいつもの時にも発生してゆきます。伝統ということは、その現象のとなり、われわれが、好む、好まざるにかかわらず進展してゆきます。伝統ということです。殆んど動かし得ない、しの中であつちかわれ、きたはば決定的或いは絶対的な事実なのかと思います。殆んど動かし得ない、摩擦を生じ得ない事実には長い歴史と経験の所産です。早慶対抗ということも、スポーツ競技界における伝統を形成しております。

その中で比較的若い対抗戦が、バドミントン定期戦だと思えます。人は何か革新を期待しているようですが、わたしどもは、すっぱり伝統の中に守もられ早慶対抗しか味わえない。競技会を育てている訳だと思います。この早慶戦の味は何か、わたしは一口に云ってフェアーの理論と実践が一致している対抗戦技だと思います。そこに人の感動があり親愛があるのだと思えます。

およそバドミントン界に在りながら、競技を知らない人間はわたしをおいて他にないと思えます。在学4年31年に卒業してそれから18年間何らかの形でバドミントン界に在りましたわたしの公式記録出場記録は1回だけです。それがこの早慶定期戦です。わたしにとつて生涯忘れられないこの公式記録は貴重なものですが、今後こうした記録は生れないと自負しています。わたしの自慢のひとつです。10年前のおわりに、今WASEDAが強いようですが、伝統の中の事象は繰返えされるのが常です。10年前のWASEDAを知る人は今のKEIOを思いうかべていることでしょうか。そろそろ交代の時期ではないでしょうか？

慶応義塾大学 文学部 44年卒 北島綾子

卒業して初めての早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。私にとつて、毎年、この定期戦は違った印象を与えてくれます。初めて観戦したのは、確かまだ高校生で、バドミントンははじめての時のことでした。ただただそのシャトルの速さ、先輩方のすばらしいプレーに眼を見張るばかりでした。まさか大学に入ってこのスポーツを続け、そしてこの早慶戦に出場出来るとは思いませんでした。

リーグ戦や、他の対抗試合とはまったく雰囲気を変にするのが原因かもしれませんが、いつもその独特の緊迫感に押されてあなかつてしまい、一年生の頃などは、自分が何を打っているのかわからずに、試合が終つてしまいました。暑い夏のトレーニング、合宿を経て、それまでの成果を測るものとして、又良い意味の対抗意識が生れ、一つのよい目標になっていると言えそうです。これからは、女子の卒業生も増えることでしょうし、是非ともOG戦も盛んにし、この早慶戦には、かかさずに顔を出したいものです。

両校の選手の方々の御健闘を期待しております。

スピード時代の複写は

ゼロックス
リコー

XEROX コーナーで

タイプ印刷
オフセット印刷

慶応義塾大学正門前

TEL (452) 3557・5939

(株) ミツギプリント

港区 三田 3-2-5